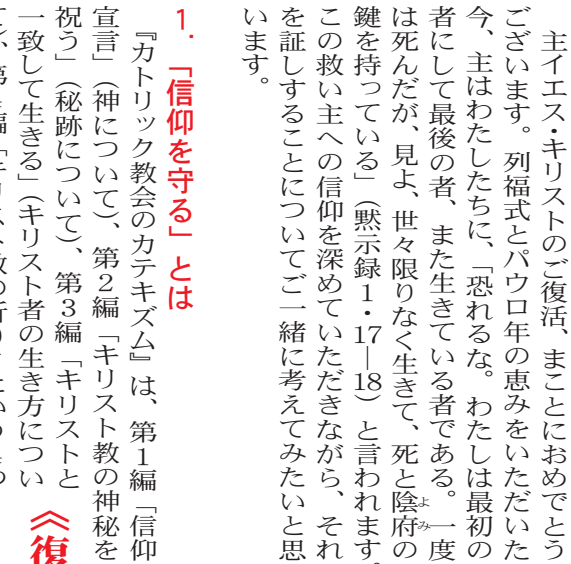




たしたちに救いの恵みを
のちの道を歩ませてくれ
わたしたちの生活と生涯
る神の愛の教えを実践し
この生活の重要な要素の
初めと終わり、食前食後
折々に願うごとや感謝を
ち合うとき、巡礼するど
り合うことです。従って
る」と言うとき、意外と
それは、第3編のキリッ
り、「わたしたちの信仰を
して表すこと」ではない

聖かにもたらし、永遠のいのちをいただきます。その恵みのおかげでは、わたしたちが信じています。祈りするものとなります。イエスである祈りは、1日の通勤通学時、仕事の合間、るとき、聖書を読み分かつなど、絶えず神さまと語わたしたちが「信仰を守り、そのかたにきたこと、者としての生き方、つまし、生活の中で人に対する愛としようか。

うに教えています。「栄光に満ちた、わたしたちの主イエス・キリストを信じながら、人を分け隔てしてはなりません」といえば、金持ちを大切にして貧しい人を軽んじてはならないのです（ヤコブ2・1—9参照）。また、「わたしたちは舌で、父である主を賛美し、また、舌で、神にかたどつて造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。わたしの兄弟たち、このようなことがあつてはなりません」（同3・9—10）

このように信仰を守るなら、もはや信仰を証ししているのです。なぜなら信仰を証しするとは、神がキリストによって示してくださった愛を信じて生き、具体的に示すことにほかならないからです。そしてこの証しは、まだ信者でない人たちに對してだけでなく、まず信者同志が実践すべきこと

▼イエズス会

中村 満師	ターおよび大司教館館長
滑石教会主任・長崎北地区長	
（教区本部事務局次長・長崎巡礼セン ター長）	
下山 盛朗師	平戸口教会主任（鹿子前教会主任）
岩下 和樹師	青方教会助任、大曾教会居住（ローマ 留学）
鶴巻 健二師	教区本部事務局付、カトリックセン ター居住（浦上教会助任）
熊谷 裕司師	浦上教会助任（滑石教会助任）
汐留 義和師	滑石教会助任（青方教会助任）
谷脇誠一郎師	中町教会助任（浦上教会助任）
岩下 裕志師	浦上教会助任（新司祭）

パウロとバルナバ。パウロは知っているが、バルナバを知らない人もいるだろう。バルナバはパウロにとってアナニアに次いで負うところの大きい人である。パウロは洗礼を受けるまでアナニアの世話になったが、その後はずっとバルナバが協力してくれた▼エルサレムで「弟子の仲間に加わ

教区新体制2年目 活動の充実目指す

2008年度から長崎教区は諸委員会を再編した新体制のもと活動しているが、2年目の今年、さらなる活動の充実を目指す。ここでは参考として教区組織図全体を示すとともに、特に具体的な活動を進める3部門の目的・役割を紹介する。

新体制始動までの経緯

21世紀を迎えた2001年、普遍教会が指し示す「福音化」に取り組むため、長崎教区は同年4月1日付で教区本部事務局を改編し、その活動機関として11委員会(宣教、生涯養成、信仰教育、典礼、財務、広報、家庭、召命、青少年、福祉、エキムニズム・諸宗教)を整えた。そして2期6年、各委員会はそれぞれ具体的宣教活動に力を注いできた。その後、高見大明大司教は諸委員会再編の是非について司祭評議会に諮問、その答申に基づき06年秋から「教区諸委員会再編プロジェクト」チームを編成、チームは諸委員会と意見を交わし、検討を重ね、再編案を作成した。08年1月17日、教区顧問会はこの再編案の08年度からの実施を決定、同年4月からスタートした。

教区組織全体の中の諸活動部門

長崎教区の組織全体は左図の通り。教区運営の

編の是非について司祭評議会に諮問、その答申に基づき06年秋から「教区諸委員会再編プロジェクト」チームを編成、チームは諸委員会と意見を交わし、検討を重ね、再編案を作成した。08年1月17日、教区顧問会はこの再編案の08年度からの実施を決定、同年4月からスタートした。

信仰養成部

信仰養成部は信者の信仰生活と信仰養成に重点

を置いて活動する部門である。

この部門は4つの委員会と1つの担当部から成っている。

①信仰教育委員会(小学生と中学生の信仰教育を担当) ②青少年委員会(高校生と青年の信仰教育や活動を担当) ③生涯養成委員会(成人カトリック信者の福音化を目指した養成活動を担当) ④典礼委員会(信仰を育む典礼活動や研修を担当) ⑤クルシヨ担当部(信者の福音化養成会の企画・実施)。

これまで各委員会や担当部が独自に活動計画を立て、3年1期のスパンでそれぞれの委員会活動に取り組んですでに6年が過ぎ去った。しかし、各委員会の情報や活動の共有が乏しく、一環した信仰の養成プログラムにはなっていない。また、それぞれの委員会の抱える問題には、他の委員会との協力体制が必要

福音化推進部

2つ目の大きな柱として、キリストの福音による社会と教会の福音化を目的とした諸活動部門をこの部にまとめ、3つの委員会、2つの担当部、任意の活動組織が属している。

教会奉仕者等養成部

この部は、他の2つの部を人材面でサポートするために不可欠な部門としてシステム化を目指している。現代社会が少子高齢化に向かっている中で、子供の司祭召命も減少の一途を辿っている。日本教会のレベルではとくに司祭不足は深刻な問題となっているが、長崎教区でも例外ではない。

現在、この部の活動の性格と方向を支える基本理念づくりには大司教を中心として取り組んでいるが、各会の独自性ゆえに、部とのつながりは柔軟性をもったものとしている。

福音による社会と教会の刷新という使命は、特にこの部の諸部門に課せられたものであり、同時にそれは多岐にわたっている。そのため部という大きな柱を立て、これに属する各部門が連絡調整、相互連携、相互協力ができるように配慮したものである。また、部全体での共同企画による活動も実施できるようにし、その使命を果たすよう促している。(中村 満)

これらの3つの部とは別に、その他の担当部として教区書記長のもとに歴史遺産資料管理担当部があり、教区会計のもとに教区財政対策、境内建物建設検討、国宝管理を担当する部門がある。小共同体推進は全部門にかかわるものであるが、いまだ認知度において進んでいないので教区本部事務局直属となっている。

(橋本 勲)

長崎教会管区事務局長が話し合い

西日本6教区(広島・福岡・長崎・大分・鹿児島・那覇)の司教・事務局長が集う長崎教会管区事務局長会議が、3月11日から12日にかけて大分・湯布院で開かれた。会議では公会議後の改編されるべき教区本部事務局のあり方、西日本宣教司祭大会(1999年11月16日・18日福岡市で開催)から10年となる今年、長崎教会管区内の広域人事、九州巡礼道整備、大神学院統合に際しての要望などについて話し合われた。

助祭・司祭候補者認定式

3月22日、助祭・司祭

日本カトリック社会司教委員会では、人権問題をカトリック的にどう考えるか―第1回シンポジウムを3月14日、福岡・大名町教会で開催、約200人が参加した。宮原司教(福岡)の司会。

「すべての人の人権を大切に」社会司教委員会シンポジウム



高見大司教(長崎)は「教会の現実から見えてきたこと―信仰と現実のつながり」について、人権侵害は教会の外だけでなく中でも起こっている、と提起。松浦司教(大阪)は「教会自身の福音化の課題」についてふれ、社会の事柄や問題は信仰と関係がないと考えることで事実を直視しないのではないかと指摘。谷司教(さいたま)は「教会はハンセ

(水・土曜日の週2回)、十字架の道行(毎週金曜日)は、教会協にある司祭館で行われている。

ふどろり園

聖香油ミサ 4月7日(火)10時半 浦上教会

心のもしびテレビ番組お知らせ 4月11日(土)から野下千年師のお話が

完成まであと1年 工事進む江袋教会

2007年2月の火災焼損以降、復旧委員会、教会・工事関係者など総力をあげ進められている江袋教会(36世帯、仲知小教区巡回、山田聡主任神父)の復旧工事。来年3月予定の完成が心待ちにされている。

信使代表を務める楠本伸慈さんは、「少しずつできていく教会を見て、信者も皆喜んでいきます。焼ける前の教会の姿に近づいているのがうれし。今後とも皆さま方の切なるお祈りをお願いいたします」と話す。

現在、同教会のミサ

●祈りの一日 ①4月18日(土) ②4月29日(水) ③5月11日(月) 9時50分〜15時半

●ともに祈る日々 ①4月8日(水)〜12日(日) ②4月25日(土)〜26日(日) ③5月9日(土)〜10日(日) 初日17時〜最終日15時 095(821)4577

神のいつくしみの主日

長崎カトリック神学院

山崎逸郎様(浦上)

故メルキオル

山崎政義様

浜口政利様(滑石)

香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院

山崎逸郎様(浦上)

故メルキオル

山崎政義様

浜口政利様(滑石)

故マリア浜口シモ様

●森山 明様(中町)

故マリア森山ツヤ様

右の方々から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごいふ福を心からお祈り申し上げます。

日 時: 2009年4月29日(水・祝) 10:30～16:00
 会 場: カトリックセンター(長崎市上野町10-34)
 内 容: 聖母祭を準備するためにその原則と意味また留意点を学ぶ
 参加費: 500円(昼食は各自で準備)
 締切日: 2009年4月19日(日)

申込先・教区典礼委員会研修会事務局
 TEL 0956-75-0688 FAX 0956-75-0731

動団体へ460万円（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡・高松・鹿児島・大分・長崎の各団体）。

天正遣欧少年使節の1人で、昨年列福された中浦ジュリアン生誕の地、西海市の小学生たちによるグレゴリオ聖歌の発表会が、去る1月25日に同

る西海市の小学生たちには習得させて成果を発表する西洋古楽研究プランに基づき実施したもの。研究指定校に選ばれた4つの小学校の児童たちが、昨年6月から発表会まで半年、延べおよそ80時間におよぶ練習に挑んだ。企画の監修にはNHK

カタリナ
中島ツヨ修道女
(お告げのマリア修道会)

八幡町教会(長崎市)の「おとずれ」が500号発行(2月22日)した。

1962年9月、初代主任として糸永真一師が着任、小教区報の発行に取組む。

糸永師の小教区づくりに掲げた理念の実現のために、①カトリックの信



聖母の騎士修道女会 発行の「愛」200号

愛社発行の季刊誌「愛」この3月1日、200号を発行した。

中山和子修道女によると、47年前8ページの薄い雑誌から始まり、200号の記念号は、51ページ。表紙「愛」の文字は、修道女会発行の雑誌に掲載している。

イエスさまの手の傷跡「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。信じてない者ではなく、信じる者になりなさい」(ヨハネ20章27節)

子供たちは、その日のままとして、時々テキストに載っている「間違いない探し」の作業が好きです。それは、右の絵と左の絵を比べて、違っているところを探すのです。

3・4年生のクラスで「復活したイエスさまは、いつもわたしたちといっしょに」という主題を学んだ後、今回は5つの違いを見つけました。4つまでは、なんとか全員が見つけることができました。しかし、あと1つがなかなか見つかりませんでした。そこで「シスター、

の共同体」の3つが目標、その手段の1つとして創刊された。

500号はカラー印刷の14ページ。1面に糸永鹿兒島教区名譽司教、2面、前任主任深堀政美師西出津、聖マルコ園、3面、主任鍋内正志師、4面に経済評論員・柴田芳男氏(元県副知事) 5面前広

09年ベネディクト16世 「世界平和の日メッセージ」音楽と講演

大司教区主催(主管福音化推進部・正義と平和推進部会)の「音楽と講演Ⅲ」は3月1日城山教会で開催され、1部音楽は教皇ヨハネ・パウロ2世の広島「平和アピール」から小畑郁男作曲・指揮(新作・初演)で「神よ、私の声を聞いてください」と城山教会聖歌隊、聖マリア学院音楽クラブSCORE(写真)の合



山内清海 師

大明寺教会へ巡礼 中地区、パウロ年企画

3月15日、長崎中地区で聖パウロにささげられた大明寺教会へ巡礼を行った。

「パウロ年」行事の一環として浦上・城山・西町・本原・稲佐・三ツ山の各教会から募集し、聖パウロの信仰に少しでも近づけるよう、取り次ぎ

わっかもんさるく ミサ・島原巡礼

「わっかもんさるくミサ」は青年有志によって始められ、どこかの小教区に青年たちが集まりミサをささげることによって

2部講演。教区司祭、長崎純心大学・大学院教授山内清海師は、今回の



みことばにふれて 中町教会学校スタッフ

「復活したイエスさまは、いつもわたしたちといっしょに」という主題を学んだ後、今回は5つの違いを見つけました。4つまでは、なんとか全員が見つけることができました。しかし、あと1つがなかなか見つかりませんでした。そこで「シスター、

た。すると、「おれだつて」と、もう1人の子供もボツンと小さな声で言いました。きつと、その場面を思い出していたのしょう。わたしは「そう、ガマンしたのね。イエスさまはあなたたちの心をとって喜んでお

ベネディクト16世のメッセージは「世界平和」と「貧困」とのからみ。「地球規模」的考察の方法論的長所を特徴として挙げる。貧困問題では人間の尊厳一人間の社会的使命が含まれていると述べ、海外邦人宣教師活動(アフリカ、アジア、中南米)の支援をしている作家曾野綾子さんの例を挙げ、「貧しい人を助けるには口先だけではできない。命懸けで助けなければならぬ」と、貧しい人への実践を論じた。



をささげた。

その後講演の中で、中田輝次神父は偉大な功績を残したパウロには、陰に隠れてしまったバルナバの存在が欠かすなかつたと話す。最後に教会前で茶話会があり、小さな交流を行って親交を深めた(城山・中田三穂)。

お告げのマリア修道会 十字修道院新築

3月10日、お告げのマリア修道会十字修道院は新築(写真)・落成の日を迎えました(昨年7月竣工、2月末に完成。昭和41年に建てた旧修道院は、その時々々のニーズにより、長年多人数で使用してきましたが、老朽化が進み、特に水回りに関しては不便さが生じ、病人や老人にとっては生活しにくい箇所も多く危険でした。



活動を盛り上げようと続けられている。

今回は列福式のお恵みへの感謝として3月1日(日)19人の青年たちが島原半島の殉教地を巡り、雲仙教会でミサをさ

さげた。参加者からは殉教者の信仰に対する素直な感動の言葉が語られた。次回は6月21日に全国規模で行われる「あつちこちミサ」に合わせて開催の予定。

青年黙想会

3月7日・8日青年黙想会が司教館にて行われ、約40人が参加した。聖パウロ修道会の澤田



黙想会感謝のミサ

千衣子(大阪教区青年)さんの話を聞いた。約20人の参加者は体験者の生きた言葉を聞き、有意義な時間を過ごした。

演奏に先立ち、梅木公子病院長から奥浦慈恵院を

聖マリア病院60周年 コンサート(福江)

3月15日福江教会にて聖マリア病院開設60周年記念コンサートが開催された。見事なクラシックの演奏に約600人の聴衆が感動に酔いしれた。



記念コンサート



時にマキらが生きた精神を複雑多様な社会の中でどのように生き、引き継いでいくか大きな課題も抱えています。そんなわたしたちが神さまからの力を蓄えるために、この家で憩い、祈っていきたいと思います。

近隣の方々には数カ月におかけしました。建築関係者をはじめ皆さま方に心からお礼申し上げます。

(十字修道院)

天使の手のひら
Angel Palm
エンジェル パーム
心と体のために...
アロマセラピー(新・足・腕・手・肩・首・顔)
手作り美容クリーム・ペーパーアロマキャンドル etc...
住所: 西彼杵郡長与町高田郷1260-14
TEL: 090-5297-9304 完全予約制 テレジア 毎熊美香

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

車イスでお墓参り可 祈りの丘
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円
小江原ニュータウン、夢が丘NT県道向かい、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
実績 城山教会墓地 鮑の浦教会墓地 浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

カトリック黒島教会巡礼、観光お待ちしております
ガイド・昼食お引き受けします。予約お待ちしております。
鶴崎商店
フランシスコ 鶴崎時雄
〒857-3271 佐世保市黒島町 3 8 0 3 - 1
TEL (0956) 56-2038 FAX (0956) 56-2048